

会 議 録

名 称	令和5年度 松山市国民健康保険運営協議会（第1回）			
事務局	保健福祉部 国保・年金課 TEL 089(948)6376 FAX 089(934)2631			
開催日時	令和6年2月1日（木）午後2時～午後3時			
開催場所	松山市役所別館6階 第1委員会室			
出席者	委員	被保険者代表：河端美知子、岡本裕子、竹内典子、梶川志津子、戒田久子 医療機関代表：井上洋、宇田雅実 公益代表：北川敦史、越智裕子、大鹿義弘 被用者保険等代表：谷水恭子、三浦淳一郎		
	事務局	保健福祉部長、保健福祉部副部長、国保・年金課長 ほか担当職員		
議 題	国民健康保険事業状況等について			
議 事 内 容	<p>《議題》</p> <p>(1) 国民健康保険事業特別会計について</p> <p>(2) 松山市国民健康保険条例の一部改正等について</p> <p>(3) 愛媛県国民健康保険運営方針（案）について</p> <p>(4) マイナンバーカード対応について</p> <p>(5) 国保がん検診無料化事業について（実績報告）</p> <p>(6) 松山市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）・第4期特定健康診査等実施計画（案）について</p> <p>・事務局から資料の説明後、質疑を行った。</p> <p>《質疑等》</p> <p>委 員：保険料収入が減ることに対する事業計画は。</p> <p>事務局：現在シミュレーションをしている。被保険者が減少している一方で一人当たりの医療費は上がっている。保険料に反映するときはしないといけないので、今後も慎重に確認していきたい。</p> <p>委 員：松山市で脳梗塞や狭心症が多いのはなぜか。</p> <p>事務局：治療に結び付きづらい、結び付いても中断などで次の病気を発症してしまうのではないかと。</p> <p>委 員：生活習慣病の方に対して松山市としてどういう考えで臨むのか。</p> <p>事務局：継続して啓発をしていくことで皆さんに取り組んでいただく。愛媛県や健康づくり部門と連携しながら啓発を続けていく。</p> <p>委 員：未治療者へ医療機関を勧める取組の継続とは。受診勧奨の手段と実績は。</p> <p>事務局：特定健診受診者のうち、血圧、血糖、脂質、腎機能が低下している方にお知らせを送付している。リスクが高い方は、その後個別で電話や訪問を実施。通知をした方を母数として半数以上を医療機関につなげることを目指している。</p> <p>委 員：特定健診受診率が低いから上げるように言われるが、かかりつけの病院での検査を特定健診データとして入れれば受診率が上がるのではないかと。</p> <p>事務局：特定健診は集団健診と指定医療機関で実施しており、かかりつけが指定医療機関になっていれば受診券も使える。かかりつけ医での検査のうち1回を特定健診として受診すれば、行政にデータが蓄積され、蓄積データからのアドバイスや健康状態の分析結果を政策に反映することができる。</p> <p>委 員：メタボではない方には案内が来ないのか。そういった人は自分で気を付けるしかないのか。</p> <p>事務局：メタボの有無にかかわらず該当者には全員通知している。また、健診結果の見方のリーフレットを作成し、健康相談も随時行っている。</p>			
	備考（資料）	議事資料		
	公開・非公開	全部公開	部分公開	非公開
	傍聴者数	2人（5席）		